

新潟県自殺予防教育プログラムのねらいと構成

<ねらい>

「SOSの出し方に関する授業」の実践をとおして、生徒がSOSを出しやすい環境を整備し、教育相談の充実を図る。

<プログラムの構成>

1 生徒向け「SOSの出し方に関する授業」

<内容>

- 相談に対する心理的抵抗や自分自身の援助希求行動の傾向を理解することをとおして、必要な時には相談するとよいことを理解できるようにする。
- 人には相談できる力が必要であることを、交流活動をとおして理解し、支え合っ
て生きることの大切さを理解することができるようにする。

<資料等>

- ・新潟県版「SOSの出し方に関する授業」の授業案
- ・ワークシート（1年生用、2年生用、3年生用）
- ・「相談する力を高めよう」（DVD又はスライド資料）
- ・学習課題、学習の流れ（A3で印刷し、黒板に掲示するもの）
- ・「こころが苦しいときは気持ちを聴かせてください」（学校が作成する相談窓口一覧）

2 教職員向け研修

<内容>

- 悩みを抱えている生徒への理解を深め、SOSを受け止める姿勢や技術及び組織
的な対応力の向上を図るための研修を行う。

<資料>

- ・教職員向け「生徒の自殺予防リーフレット」

3 保護者向け啓発

<内容>

- 思春期の子どもの心理やSOSに気付くことの大切さ等についての理解を深め
るための啓発講演を行ったり、リーフレットを配付したりする。

<資料>

- ・保護者向け「子どもの自殺予防リーフレット」

4 相談体制の整備

<内容>

- 相談窓口の周知を図る

<資料等>

- ・「こころが苦しいときは気持ちを聴かせてください」（学校が作成する相談窓口一覧）
- ・地域の相談窓口一覧